



45th
T.S.C.
Make Next Standard.

鳥取県東部中小企業青年中央会
会報

2020年6月発行 N.195

発行人: 吉田 雅之 (第45期 会長)
編集責任者: 楠 光裕 (ピンチをチャンスに変える委員会)
編集委員会: ピンチをチャンスに変える委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会

- 綱 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
領 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>
E-mail tsc@tsc21.gr.jp
FB <https://www.facebook.com/east.chuoukai/>



【サブテーマ】
～動き考え歩みを記す～

会長挨拶

第45期会長 吉田 雅之

この会長挨拶文が今年度最後となる「おおぞら」の原稿作成。1月発行の「おおぞら」は、オリンピックを控えた2020年の明るい展望に期待を寄せながら作成したことを覚えています。本来なら今回は1年間の御礼を皆さんに明るく伝えたいかった。

あれから5ヶ月。半年も満たない間に世界は大きな変貌を遂げてしまいました。中国武漢から発症したといわれる「新型コロナウイルス」は、瞬く間に世界中を恐怖に包み込みました。日本でも46都道府県で感染が拡大。全国に緊急非常事態宣言が発令され、日本のみならず世界経済は一瞬で大きな損害を被りました。幸いにも皆さんの中に発症者は確認されませんでしたが、各企業が大きな打撃を受けています。「営業自粛」「先の見えない終息」「強いられるリモートワークによる疲弊」に加え、「増加するDV」「追いつかない補償」「正義感を言い訳にする自衛警察の暴走」などにより、オリンピック開催に期待を寄せた国民感情とは真逆の方向へ日本は進むこととなりました。

「アフターコロナ」や「ウィズコロナ」。個人的な考え方はさておき、経営者として対応に迫られる問題は山積みです。多くがオフラインで形成されていた鳥取の経済は、急速にオンライン化が進みビジネスモデルの再構築が求められることは容易に想像できます。生活における必要と不要が明確になり、それによって企業業績の格差が顕著に表れてくるでしょう。時代が必要とするものを見極め、舵を切り直すことが出来るのか。企業の体質が問われる大きな出来事となりそうです。

青年中央会でも知恵を絞りながら存続をかけて歩みを続けています。オンライン会議の導入、会員企業に必要な情報をヒアリングして専門の会員によるオンライン配信での情報提供を試みました。時代の変化にどう対応するのか、切迫した状況で試されるのは会員同士の知恵、そして絆という仲間同士の繋がりです。今年度、会長という立場で感染が起きたことを「残念だったな」という声を耳にしますが、自分としては「高みに挑む」ための試練であり、青年中央会の仲間と一緒にそれが可能だと信じて動いてきました。結果的に今年、1番成長したのは自分であるし、人生で最も仲間に関わり助けられた1年となりました。

まだまだ先の見えないコロナ渦の中で45期は終わり46期へと時代を繋ぎます。自分から会員一人一人の手を介して松島次年度会長へバトンが渡り、青年中央会がさらに力強い一歩を踏み出せるように、微力ながら今後ともお手伝いしていきたいと思います。会員の皆様、1年間本当にありがとうございました。



新年例会

Mind Revolution委員会 委員長 油谷 章吉



令和2年1月23日(木)ホテルニューオータニ鳥取にて、来賓6名、OB会員43名をお迎えし、「1月臨時総会・新年例会」を開催致しました。年始ご多忙の所、ご臨席頂きまして誠にありがとうございました。臨時総会では松島次年度会長が承認され、第46期の造船スタート！おめでとうございます。新年例会にて、恒例であります清水OBより詩吟がめでたく披露されると、「今年も頑張るぞ！」と身が引き締まる想いです。来賓の方より、「青年中央会はまとまりがありとてもエネルギーに溢れている」とお言葉頂いたことが、とても嬉しく、東部中小企業青年中央会の意義を強く感じました。

二次会では、「吉田会長年度自慢の委員会メンバーとOB会員を交えた二次会」と題し、今年度しかない各委員会の二次会雰囲気をおOB会員にも感じて頂くべく、会員自慢のお店で楽しませて頂きました。各会場を回らせて頂きましたが、余興の間をとれない程、どの会場を非常盛り上がりしており、皆様の笑顔がとても印象に残っています。会場を提供してくださった会員の皆様、ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響により、会員同士集まっていた例会ができない状況が発生しております。来賓、OB会員、そして現役会員同士で顔を合わせ、楽しく時間共有できることを当たり前のように思っておりましたが、とても貴重な時間であったとつくづく実感しております。

末筆になりますが、会員の皆様、そしてマイレボ委員会メンバーのご協力とフォローのお陰で無事に終えることができました。本当にありがとうございました。



45周年特別記念講演会

即断即決委員会 委員長 田村 悟



45周年という節目のオープン例会に、会長より『集客』という一つのハードルをいただき、候補者選定に苦労しましたが、結局、一番初めに『直観』で決めたメンタリストDaiGo氏をお迎えすることとなりました。講演内容についても、『即断即決』に必要な要素である、『直観力』と『超選択術』についてご講演を依頼しておりましたが、講演開始早々、メンタリストDaiGo氏より、講演時間内すべてを質疑応答とする、異例の講演形式へと変更となりました。いきなり、全公演時間を質疑応答形式とする『即断即決』を求められましたが、会場係を担当していただいた委員会メンバー及びサポートスタッフの臨機応変な対応により、大きなトラブルもなく、無事講演会を終了

することができ、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

当委員会の担当例会は、45周年という節目のオープン例会のみということもあり、できるだけ多くの方々に、ご来場いただけるよう委員会としても全力で取り組んで参りました。

広報活動については、TVCMの他、地域を限定したYouTube CMを実施、チケット販売活動については、チケットぴあを活用するなど、従来とは違った方法にチャレンジしました。

皆様のご協力もあり、チケット販売や準備についてもスムーズに運び、結果、当日は大変多くの方々にご来場いただき、懸念された質疑応答形式の講演も、後日のアンケート集計にて、ご来場いただいた皆様より大変満足いただけるお声を頂戴することができ、講演会を成功させることができました。皆様、本当にご協力ありがとうございました。



クローズアップ委員長

1年間を振り返って

Mind Revolution委員会 委員長

油谷 章吉



1年間を振り返り思うのは、「感謝」と「力不足」です。委員会活動、メンバーへのサポートなど至らぬ点があったのが「力不足」。引き

続き青年中央会で自己研鑽していきます！そして、「感謝」。船越副会長、西原副委員長はじめ、委員会メンバー、皆様のお力があって、1年間貴重な経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

ピンチをチャンスに変える委員会 委員長

楠 光裕



委員長としての1年間で、最も痛感した自分に足りないものは「人にどう力を貸してもらおうか」です。担当例会や毎月の役員会、委員会

活動でも、周りの人を巻き込んで如何にして力を借りるか、どうすれば賛同していただけるかを学ぶことができました。

委員会メンバーの皆さん、役員の皆さん、1年間お世話になりました。ありがとうございました。

我、この道をゆく委員会 委員長

木村 竜也



会員のみなさんの時間やお金を預かる立場として、担当例会や委員会活動など、都度責務を果たすため、振り返る余裕がないくらい我

武者羅に走ってきました。立場も経験もやってみないとわからないことが随分とあった気がします。委員会メンバーをはじめとして、多くの方に支えてもらい、またひとつ借りを作ってしまいました。さてどう返していきましょうか。感謝。

即断即決委員会 委員長

田村 悟



1年間を振り返ってみると、当初決めた委員会活動をこなすことで精一杯だったと感じています。今までは、一委員会メンバーとい

う立場で、委員会を支える立場でしたが、今年度は、委員会を牽引する立場となったことで、中央会を運営する視点からの経験をすることができ、本当に良かったと感じています。皆さん、1年間ありがとうございました。

プロアクティブ委員会 委員長

鈴木 丈夫



【高みへ挑む行動力の成長】を本年度のテーマに委員会活動を実施して参りました。委員会メンバーが今までやってみたかったけど行

動出来なかった事を積極的に委員会活動で実施し、「出来なかった壁」を乗り越える実体験型委員会。個性豊かなメンバーで、逆に私自身の行動力を上げてもらえた事に感謝です。

最高の委員会でした！プロアクティブGoGoGo

CA委員会 委員長

西田 誠一



今期は担当である「10月家族ふれあい例会」が印象に残っています。6月から計画したものが当日を迎えた時は感慨深いものがありました。

委員会メンバーをはじめ現役会員、そしてOBの皆様にもお世話になり、改めて自分一人ではできないことが皆と一緒にあれば達成できることを知ることができました。一年間、本当にありがとうございました！

5月臨時総会・例会

CA委員会 委員長 西田 誠一



5月21日(木)に5月例会・臨時総会が開催されました。今回の5月例会は元々3月に開催される予定でした。しかし、新型コロナウイルスの蔓延により「3密」を防止するため3月例会が順延となりました。さらに4月の湖山池フェスティバルも中止となった状況で「なんとか例会を開催したい」という吉田会長の思いを受け、当初の企画を大幅に見直しました。テーマを“やってみよう！「Web会議」～青年中央会の新たな挑戦～」とし、コロナ禍でも青年中央会活動を「継続」するため、初めてのWeb例会に挑戦いたしました。3月以降の各委員会活動で「Zoom」でのWeb会議を実践してまいりましたが、約80名が同時参加するWeb会議運営は初めての経験でした。途中で通信回線の不良であったり、マイク・スピーカーの混線によるハウリング発生など、当初の想定通りにならなかったことも多くありました。そのような状況でもグループディスカッションが実践できたことで、Web会議形式での例会運営に可能性が見出せたのではないかと考えております。これは新しい試みに挑戦できたからこそ経験できたものであり、この機会を与えて頂いた吉田会長を始め、経営環境が厳しい中で多数の会員の皆様にご参加、ご協力いただいたおかげです。本当にありがとうございました！「インターネット環境さえあれば場所はどこからでも参加可能」というWeb会議のメリットは、コロナ禍ではなくても大いに活用可能と考えております。この5月例会が次年度の例会運営、そして自社の経営の参考になれば幸いです。

新入会員研修会

サポート実行委員会 委員長 諸寄 英久



2月17日、鳥取市文化センターにて開催したR1新入会研修会は、今までとは違う新しい試みの研修会となりました。

今年度のサポート実行委員長を引き受けるにあたり、前年度の継承の集いに参加させていただいた時、“これは新入会研修会のタイミングで知っておかなければならない内容が多々ある”と強く感じました。

そこでサポート実行委員会メンバーと共に“なぜ研修会を開催するのか？”という原点から内容を見直し、継承の集いを織り交ぜ、会の概要から、コンプライアンス、ルール、マナーに至るまでの内容を盛り込んだ新しい研修会を試みました。

そして、継承の集いでは45周年の歩みを学び、快く引き受けお越し下さった39代会長牧浦OBから、「綱領、4つの挑戦、10年ビジョン、キャッチフレーズ」等について体験談を交えながらお話をいただきました。

研修会は、今後、“会を支えるメンバーになって欲しい”との願いを込めて每期開催されています。今回の新しい試みはまだほんの第一歩を踏み出したに過ぎません。未来の青年中央会を支える会員を育む研修会を、次年度以降も改良を重ねながら作り上げていって欲しいと切望します。ご参加下さった皆様、有難うございました。

例会中止のお知らせ

鳥取県東部中小企業青年中央会は、3月19日に開催を予定しておりました「3月例会」及び、4月19日に開催を予定しておりました「第17回湖山池フェスティバル」について、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に係る昨今の状況を踏まえ協議いたしました。結果、苦渋の決断ではございますが、中止となりましたことをお知らせいたします。

新入会員紹介

1月 吉谷 友宏氏【株式会社 吉谷機械製作所 常務取締役】我、この道をゆく委員会

新社屋落成

5月 橋上 聖会員【橋上塗装店】CA委員会／本社移転

5月 西田 誠一委員長【株式会社アクシス】CA委員会／Next.ビル開設

5月 徳田 豪会員【株式会社徳田商店】CA委員会／新店舗 元気亭開店

5月 中島 健太会員【株式会社CRAFT】我、この道をゆく委員会／本社移転

Information

編集後記

この1年で、本当に様々なことが起こり、時代が劇的に変わり、そして中央会も変わっていく必要があるのかもしれない。今年度1年間、ありがとうございました。

令和元年度 卒業生からのメッセージ



現役会員へのメッセージ

小谷 誠

青年中央会で5年間活動して卒業することになりました。現役会員へのメッセージなどとたいそうな事は言えないですが、5年間という長くて短い活動を通じて感じたことを伝えたいと思います。

5年前に「成長したい」とあいさつして青年中央会に入会しました。最初の1年間はよくわからないまま委員会、例会に参加していたのを覚えています。それから、フラワーフェスティバルなどの行事、毎月の委員会、例会などに参加していくうちに、多くの人と出会い、いろいろな気持ち、考え方に触れることができました。自分とは違う見方や考え方に触れることは刺激的であり、そこから何かを学んで自分を成長させることができます。青年中央会で新しく多くの人と知り合い、仲間をつくれたことは自分にとって宝です。それは青年中央会の魅力の一つです。

今になって感じることは、委員会や例会などで学び体験できることは、貴重な経験であり、貴重な時間ということです。せっかく貴重な時間を使うなら楽しんだほうが良いです。私は楽しむことができました。本当にありがとうございました。

純誠無雑

〈じゅんせいむざつ〉

純な誠さんが雑念なく目標に突き進んでいる事。



ニラレバの美味しい作り方～ 鳥取県東部青年中央会現役会員の皆様へ。

ビストロ&ばーおれんち オーナーシェフ 段塚 俊彦

皆さんこんにちは、段塚俊彦です。たった3年間ですが青年中央会、有難うございました。

3年目最後の年がまさかの歴史的な疫病蔓延という事象です。これからの時代、行動変容もあり需要や経済の動向に大きな変化が有るでしょう。そこで私は皆様にニラレバの美味しい作り方を贈ります。

「いいか 美味しいニラレバってのはな、まず採れたてのニラを用意して、目が覚める様な色合いのレバーを用意して、目の前にしっかりとこんと並べて、これでよって納得がいて、はじめて作り出す物なんだ。たかがニラレバって馬鹿にしてただろ、それがいけねーんだ。ニラレバだって立派な料理じゃねーか、そして料理ってのは一期一会だ、だからいつも真剣勝負なんだ、だからこそ周到な準備が必要になる」。

皆様も美味しいニラレバであってください。いつも仕事に真剣勝負だから周到に準備して、常に新鮮な間柄で、お互いを尊重し合い、助け合い、旨さを引き出す、仲間であれ。

髭段色気

〈ひげだんでいずむ〉

男の色気とロマンを醸し出す、髭面ダンディーな事。

令和元年度 卒業生からのメッセージ



現役会員へのメッセージ

石河 英直

平成27年年9月、事業承継の為鳥取に戻り2年目の秋39才で青年中央会へ入会しました。入会当時は多少遠慮がちに活動していた私が、3年目に初めて役員となった頃には自ら積極的にほぼ全ての行事に参加するようになりました。

多くの仲間と共に自己研鑽に挑んだ6年間。担当委員長として仲間と共に創り上げた手作り例会、深夜まで真剣に意見をぶつけ合ったこと、時には楽しく飲んだり遊んだり、中央会で多くの仲間とともに過ごした時間は私の貴重な経験と思い出となりました。

ラストイヤーとなった今年度、コロナウィルス感染症の為3月には青年中央会の多くの行事が中止となり、完全燃焼するつもりで挑んだ一年でしたが残念ながらエネルギーを蓄えたまま卒会することとなりました。まだ卒会したくないというのが正直な気持ちですが、それを次のステップへのエネルギーと変えていきたいと思います。現役会員として活動できる時間は卒会までの限られた時間の中だけです。現役の皆様、限られた時間の中で可能な限り多くのことにチャレンジして下さい。OBとして全力で応援します。

米米育愛

〈コメコメmakeラブ〉
お米への愛情を育てている事。



現役会員へのメッセージ

茶谷 友士

皆さん、こんばんは！

いよいよ14年間お世話になった、青年中央会を卒業する時がきました。今は、寂しさと感謝の気持ちしかありません。特に印象に残っている事は、やはり44期の会長をさせて頂いた事です。「証を刻め！」のテーマの下、生きた証、青年中央会に在籍した証を残そうと、必死に活動しましたが、1年間を終えて気付いた事は、本当に大切な物は目に見えない、支えてくれた皆さんの力や、応援してくれた、あたたかい心でした。この証は、私の心の中に深く刻まれ、一生忘れることはないでしょう。現役の

皆さんにも必ず卒業する時が来ます。その時に、悔いの無い様に、残された時間を精一杯活動してほしいです。

今後、新型コロナウイルスより強力な感染症や、異常気象、天災が起こるかもしれません。経済が疲弊する中、それに耐えうる企業をつくり、青年中央会の歴史を絶やす事なく継承してくれることを願います。まずは健康にお気を付けて、支えてくれる方を大切に、当たり前と思える事に、感謝する事を忘れないで下さい。

皆様の今後のご活躍を期待しています！ありがとうございます。

統賢美茶

〈とうけんびちゃ〉
人をまとめ統一する才能があり、賢く美しく人を癒す存在である事。